



Title	彙報（昭和43年11月～昭和44年10月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 1970, 22, p. 185-193
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80377
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙 報

(昭和43年11月～昭和44年10月の研究活動)

I. 本期間中に学報20号, 21号以外に次の研究誌が刊行された。

「ビルマ研究」(V) (1968. 12, ビルマ語学研究室刊)

1. ビルマ研究資料(6) — ビルマの慣習法と成文法
2. ビルマ研究資料(7) — ビルマの成文法(刑法を中心として)
3. ビルマ研究資料(8) — ビルマ共産党の動向(続)
4. ビルマ研究資料(9) — ビルマの財政

「études françaises」(8) (1969. 1, フランス研究会刊)

1. フランス語の「非音楽的要素」……………中原俊夫
2. ジュリヤン・グリーンの *sensualité* について……………原田 武
3. ドデーから見たミストラル……………畠中敏郎

「ロシア・ソビエト研究」第6号(1968, ロシア語学研究室刊)

1. プレトネル先生の御退官にあたって……………高橋輝正
2. プレトネル先生の業績の略歴……………武藤洋二
3. 思いだすままに……………プレトネル
4. プーシキンの「エゼールスキー」について——詩人の自由——……………国本哲男
5. 癒着と従属——ツァーリズムの国家機関と独占資本との関係について……………渡辺正幸
6. Уголовная проза и уголовная поэзия. …………… Н. Мусфельд
7. ソビエト文学における「現代のヒーロー」批判的おぼえ書(一)……………法橋和彦
8. 十月革命と文学・芸術における一つの状況……………武藤洋二
9. レニングラード便り……………小野 堅

「キエルケゴール研究」第6号(1969. 6, キエルケゴール協会刊)

1. キエルケゴールの自己と現存在……………中村幸平
2. キエルケゴールとヘーゲルの絶対的認識……………大峯 顕
3. 模範と和解者としてのキリスト——キエルケゴールのキリスト論の一断面
……………尾崎和彦
4. キエルケゴールとシモーン・ヴェイユ……………田辺 保
5. キエルケゴールの「後書」第一部の聖書観……………渡部光男
6. ヘニング・フエンガー：*キエルケゴールの水曜日の交信*……………尾崎・大谷訳
7. スヴェン・オーウェ・ニエルセン：*キエルケゴールの著作活動*

についての陪席判事ヴィルヘルムの見解……………細谷昌志訳

8. キェルケゴールの憂愁或は重愁について（講演）……………大谷 長
9. キェルケゴールにおける「大地震」の今一つの説明——カール・サガウ著
「責めありや責めなきや」に関連して——（紹介）……………大谷 長
10. キェルケゴールにおける不安の分析……………山下秀智
11. ハンス・ブレクナー：『セーレン・キェルケゴールの思い出』（続き）
……………福山・大谷訳
12. ニェルス・トゥルストルプ編：『セーレン・キェルケゴールに関する
手紙と文書（続き）……………大谷長訳

「日本語・日本文化」第1号（1969.6，留学生別科研究室刊）

1. はしがき……………松岡満夫
2. 短歌英訳序説——外形について……………羽田三郎
3. クレディフのフランス語教授法……………黒木義典
4. ソビエト連邦における外国人に対するロシア語教育施設瞥見……………片岡 孝
5. わたしの読んだ本——松田摩耶子著「外から見た日本語」……………玉村文郎
6. 活用語尾・助動詞，補助動詞とアスペクト（その一）……………寺村秀夫
7. 研究ノートⅠ——「らしい」および「そうだ」……………西出郁代
8. 「こと」と「の」——形式名詞と準体名詞（その一）……………佐治圭三
9. 後記……………吉田弥寿夫

II. 本学教官を中心とする研究会は「フランス研究会」，「大阪外国語大学法経学会」，「国際問題研究会」などが開かれており，「国際問題研究会」では「世界史の新しい転換点」（岡倉），「中国の文化大革命」（芝池），「ポーランド，チェコの自由化」（小野）などの発表がおこなわれている。

「大阪外国語大学言語文化学会」は学内多端の折，まだ本年度の研究会をもつにいたっていない。

また本学の研究体制のあり方について，大学改革委員会内部に研究体制改革委員会が設けられ，現在審議検討を重ねている。

III. 本学所属教官の著書，論文発表（Ⅰと略記）および口頭研究発表（Ⅱと略記）は次のとおりである。なおこれは回答をよせられたものの掲載で，他に未収録の著書，論文，研究発表があるものと思われる。

〔中国語学〕

大河内康憲

I. 1. 重畳形式と比況性連合構造

| 44.3.20 | 大阪外大学報21号

2. 中国の略字の話 (I~III)	44.2~4	書道誌「水明」214~6号
3. 漢語, 普通話, 規範化 (訳注) (I~II)	44.10~11	雑誌「中国語」10, 11月号
4. J. W. F. Mulderの北京語音韻論	44.8	中国語学193号

〔インド・パキスタン語学〕

浜口 恒夫

I. 1. インドの土地改革と農業構造の変化	43.12	大阪外大学報20号
II. 1. インドの土地改革と農業構造の変化——1950年代を中心として——	44.6.1	アジア政経学会関西部会

桑島 昭

I. 1. インドにおける一農民指導者の思想の軌跡——スワミー・サハジアーナンド・サラスワティー	44.3.20	大阪外大学報21号
--	---------	-----------

溝上 富夫

I. 1. タゴールの小説「ゴーラ」にみるインド・ルネサンス	44.3.2	大阪外大学報21号
--------------------------------	--------	-----------

〔タイ語学〕

富田竹二郎

I. 1. 「タイ語の話し方」	43.12.20	泰文堂 (バンコク市)
-----------------	----------	-------------

〔ビルマ語学〕

服部 正一

I. 1. ピンヤ・サガイン時代	43.12.25	大阪外大学報20号
2. イワン時代 (その一)	44.3.20	大阪外大学報21号

大野 徹

I. 1. ビルマ共産党の現状	43.12	東南アジア研究第6巻第3号
2. タウンダー語の研究	44.2.11	ビルマ字紙「Lou ktha pyithu」
3. ビルマ語方言の地理的分布	44.3	ビルマ字誌「Ngwe Tayee」
4. ビルマ語方言学研究	44.6	ウーフラ編「Kabya Akyaung sa Akyaung」
5. メルギー方言の研究	44.7	ビルマ字誌「Shu Mawa」
II. 1. ビルマ語方言の性質	44.2.15	ビルマ政府文部省大学管理局蔵訳出版部

〔ペルシャ語学〕

井本 英一

I. 1. イラン暦の諸問題	44.	オリエント10周年記念号
----------------	-----	--------------

2. なにはづのみをつくし	43. 12. 1	帝塚山学院同窓会誌1968, No. 13
II. 1. 古代イランの犬	44. 10. 26	日本オリエント学会第11回大会
勝藤 猛		
I. 1. 蒼き狼チンギス汗, モンゴルの西征	44. 2. 20	世界歴史シリーズ12「モンゴル帝国」世界文化社
2. 大元帝国の成立	44. 9. 1	日本と世界の歴史10, 13世紀, 学研
II. 1. フラグ・ハーンの西征	44. 10. 26	日本オリエント学会第11回大会
〔アラビア語学〕		
池田 修		
I. 1. アラブにおける社会主義への道 (M. A. Anis)	44. 2	中央公論2月号 三木・池田共訳
2. ムスリム同胞国の使命	44. 9	アジア経済研究所No.44—8
〔英語学科〕		
林 栄一		
I. 1. 英語表現辞典 (項目執筆; 編集委員)	44. 6. 15	研究社
2. グロセマティクスの問題点	44. 8. 10	英語文学世界
3. Semantic Interference	44. 10. 1	英語青年
金山 崇		
I. 1. 英訳本Gesta Romanorum (Harl. 7333) における Inversion について (その1)	43. 12. 15	大阪外大学報20号
2. 同上 (その2)	44. 3. 20	同上21号
大井 浩二		
I. 1. 「英語のユーモア」	43. 12. 20	創元社
2. ホーソン「緋文字」(翻訳)	44. 2. 18	講談社
3. 「ブライズデイル・ロマンス」の再検討	43. 12. 15	大阪外大学報20号
4. アメリカ自然主義の不純さ	44. 3. 1	英語青年3月号
5. 「七破風の屋敷」をどう読むか	44. 5. 1	英語文学世界6月号
竹中 靖治		
I. 1. John Keats: To Autumn の位置付けについて	43. 11. 1	大阪市立大学院英文学研究会刊QUERIES No. 8
田川 弘雄		
I. 1. アメリカ文化の表現としてのFAMILY DRAMA—THE SUBJECT WAS ROSES の場合	44. 3. 20	大阪外大学報21号

舟阪 晃

- | | | |
|-------------------|------------|-----------|
| I. 1. 構造的文体論—資料分析 | 43. 12. 15 | 大阪外大学報20号 |
| 2. 会話体の文体的特徴 | 44. 3. 20 | 同上21号 |

好田 実

- | | | |
|---|-----------|----------|
| I. 1. 「英語表現辞典」(項目執筆) | 44. 6. 15 | 研究社 |
| II. 1. Eugene A. Nida の Toward a Science of Translatingについて | 43. 11. 3 | 大阪英語学談話会 |

正木 恒夫

- | | | |
|----------------------|-----------|-----------|
| I. 1. 「ジョン王」の解釈をめぐって | 44. 3. 20 | 大阪外大学報21号 |
|----------------------|-----------|-----------|

池田 洋子

- | | | |
|---|------------|-----------|
| I. 1. 「鳩の翼」の構成について | 43. 12. 15 | 大阪外大学報20号 |
| 2. ヘンリー・ジェイムズの小説に於ける芝居の手法——『厄介な年頃』をめぐって—— | 44年夏 | 「視界」12号 |

〔ドイツ語学〕

八木 浩

- | | | |
|------------------------------------|------------|-----------|
| I. 1. 翻訳理論の動向と翻訳者の課題 | 43. 12. 15 | 大阪外大学報20号 |
| 2. ルカーチ・アドルノ・カウフマンなど——最近のリアリズム論争より | 44. 3. 15 | 世界文学 |
| II. 1. ブレヒトの詩と言葉——ドイツ戦争習作をめぐって | 44. 6. 21 | 日本文体論協会 |

〔デンマーク語学〕

管原 邦城

- | | | |
|--|------------|-----------|
| I. 1. デンマーク語における正字法上の誤りとその原因——発音との関係を中心にして | 43. 12. 25 | 大阪外大学報20号 |
| 2. フレイ神官ラヴンケルの物語 | 44. 3. 20 | 大阪外大学報21号 |

〔フランス語学〕

畠中 敏郎

- | | | |
|------------------------------|------------|--------------------------------|
| I. 1. Judith Gautier の日本 (二) | 43. 12. 25 | 大阪外大学報20号 |
| 2. ドデーから見たミストラル | 44. 1. 20 | études françaises 8号 |
| 3. 「現在道成寺」そのほか——「執心鐘入」に関連して | 44. 2. 1 | 組踊研究2号 |
| 4. ジュディット・ゴティエと西園寺公望 | 44. 10. 31 | 日本比較文学会「比較文学」12巻 |
| II. 1. Judith Gautier の日本 | 43. 11. 17 | 日本比較文学会全国大会(福岡大学) |
| 2. 南仏とその文学 | 44. 9. 16 | 神戸日仏協会例会 |
| 3. 西園寺公望とジュディット・ゴティエ | 44. 10. 25 | 日本比較文学会 関西支部大会(京都, ノートルダム女子大学) |

赤木富美子

- I. 1. フランス17世紀末の学者と東洋旅行記 | 44.3.20 | 大阪外大学報21号

原田 武

- I. 1. ジュリアン・グリーンのsensualitéについて | 44.1.20 | études françaises 8号
II. 1. プルーストの一人称手法 | 44.6.158 | 大阪市立大学フランス文学会

田辺 保

- I. 1. ダヴィ・シモーヌ・ヴェイユ入門 (翻訳) | 43.11.10 | 勁草書房
2. フランス語のころ | 44.2.1 | 至誠堂
3. ジャム詩集 (翻訳) | 44.6.30 | 旺文社
4. 「世界の美しさ」を通して | 43.11.30 | みすず書房「ティヤール・ド・シャルダン著作集」5巻
5. 「パンセ」について | 44.2.20 | 筑摩書房「世界文学全集」11巻月報
6. ケルケゴールとシモーヌ・ヴェイユ | 44.6.30 | 「ケルケゴール研究」6巻
7. シモーヌヴェイユ：ロンドン論集とさいごの手紙 (共訳) | 44.10.30 | 勁草書房

〔イスパニア語学〕

山崎 俊夫

- I. 1. LA LEY JAPONESA ANTIMONOPOLISTICA (Continuación) | 43.12.25 | 大阪外大学報20号
2. アルヘンチナ国プラント輸入の優先的取扱いに関する政令 (訳) | 44.3.20 | 大阪外大学報21号

出口 厚実

- I. 1. イスパニア語不活動体名詞における語尾-a/-oの対立と意味 | 44.3.20 | 大阪外大学報21号

〔ロシア語学〕

法橋 和彦

- I. 1. 小熊秀雄ノート (『転換期の詩人たち』所収) | 44.3 | 芳賀書店
2. トルストイとキリスト教 | 44.4 | 「本の手帳」
3. 現代ソビエト文学におけるヒーローの問題 | 43.12 | 「ロシア、ソビエト研究」第6号
II. 1. トルストイと白樺派 | 44.3.20 | 早稲田大学比較文学会
2. ホルストメル考 | 43.11 | 日本ロシア文学会

岡本 武

- I. 1. 「現代社会主義経済論」 (共著) | 44.9.5 | ミネルヴァ書房

武藤 洋二

I. 1. 十月革命と文学芸術における一つの状況	43.12	「ロシア、ソビエト研究」第6号
〔イタリア語学〕		
池田 廉		
II. 1. イタリアにおける文体論	43.12.1	日本文体論協会
〔哲 学〕		
大峯 顕		
I. 1. 「日本の仏典」 (共著)	44.2.25	中公新書
2. ケルケゴールとヘーゲルの絶対的認識	44.6.30	ケルケゴール研究第6号
II. 1. フィヒテとドイツ・ロマン派	43.12.17	ベンヤミン研究会(京大教養部(ドイツ語研内))
〔言 語 学〕		
崎山 理		
I. 1. *満刺加館訳語、について	43.12	大阪外大学報20号
2. カウィ語の接続法, a-realis について	44.3	言語研究第55号
3. インドネシア語受動態考——その二重主語文的解釈——	44.3	大阪外大学報21号
〔歴 史 学〕		
外山 軍治		
I. 1. キタイ・ジュルチン	44.2.20	世界歴史シリーズ12「モンゴル帝国」, 世界文化社
2. 被征服下の社会	44.3.20	世界歴史シリーズ13「中国文化の成熟」, 世界文化社
3. 秦檜と岳飛	44.7.1	日本と世界の歴史9「12世紀」学習研究社
広実源太郎		
I. 1. フリードリヒ大王とマリア・テレジア		世界歴史シリーズ15, 世界文化社
2. ウィーン会議とメッテルニヒ		世界歴史シリーズ16, 世界文化社
3. 「概説西洋史」 (共著)	44.4.30	創元社
〔国語・国文学〕		
長谷川信好		
I. 1. 田中大秀稿本 *土佐日記解、(続)	43.12	大阪外大学報20号
〔法 律 学〕		
安部 浜男		
I. 1. Feeling of Being Bound and Role of State Organs	44.6	SÆRTRYK AF FESTSKRIFT TIL PROFESSOR, DR. JUR. & PHIL. ALF ROSS

〔政 治 学〕

岡倉古志郎

I. 1. 「現代の世界政治」(岡倉古志郎国際政治論集 I)	43.11	勁草書房
2. 「植民地主義と民族解放運動」(同論集 II)	44.1	同 上
3. 「死の商人, パレスチナ物語」(同論集 V)	44.3	同 上
4. 「アジア・アフリカの思想」(同論集 IV)	44.6	同 上
5. 「アメリカの世界政策」(同論集 III)	44.10	同 上
6. 「日米安保条約——資料と解説」(監修)	44.1	労働旬報社
7. 「沖縄問題——資料と解説」(監修)	44.6	同 上
8. D. W. W. コンデ: “アメリカはどこへ?”(監訳)	44.9	汐文社
9. D. W. W. コンデ: “朝鮮——新しい危機の内幕”(監訳)	44.10	新時代社
10. アメリカの世界政策と新植民地主義	43.12	「アジア・アフリカ」誌12月号
11. 戦後の中立の諸形態	44.11	平和運動20周年記念論文集, 大月書店

〔経 済 学〕

梅津 和郎

I. 1. Quelques aspects théoriques de l'économie de l'énergie	43.12	大阪外大学報20号
--	-------	-----------

〔生 物 学〕

世古口雄三

II. 1. 視覚過程の生化学的考察	44.10.5	特別研究班「生物物理」班間 交流シンポジウム
--------------------	---------	---------------------------

〔教 育 学〕

島崎 郁

I. 1. 集団主義教育論——人類愛への教育学——(1)	43.12	大阪外大学報20号
------------------------------	-------	-----------

〔体 育 学〕

原 利一

I. 1. 本学学生健康管理に関する研究——第Ⅱ報 体力的位置の考察について (共編)	43.12	大阪外大学報20号
--	-------	-----------

鳴川 六司

I. 1. 本学学生健康管理に関する研究——第Ⅱ報 体力的位置の考察について (共編)	43.12	大阪外大学報20号
--	-------	-----------

辻 忠

- | | | |
|---|----------|---------------------|
| I. 1. 本学学生の健康管理に関する研究——第Ⅱ報
体力的位置の考察について (共編) | 43.12 | 大阪外大学報20号 |
| 2. 運動選手の基礎代謝量に関する研究——第Ⅰ報
男子運動選手の基礎代謝量の季節変動について | 44.10 | 体育学研究Vol. 14, No. 2 |
| II. 1. 運動選手の基礎代謝量と蛋白栄養について | 44.9.7 | 日本体育学会第20回大会 |
| 2. 運動選手の基礎代謝量とホルモン環境について | 44.9.7 | 同 上 |
| 3. 運動選手の蛋白栄養と腎機能について | 44.10.11 | 第34回京都体育学会 |
| 4. 運動選手の蛋白栄養と体力について | 44.10.11 | 同 上 |
| 5. 身体代謝の日内変動に対する運動訓練の影響 | 44.10.29 | 第23回日本 体力 医学会総会 |

〔留学生別科〕

玉村 文郎

- | | | |
|-----------------------------------|---------|---------------------------------------|
| I. 1. 日本語のむずかしさ——外国人学生の日本語—— | 44.3.15 | 「表現研究」第9号 |
| 2. わたしの読んだ本——松田摩耶子著「外から
見た日本語」 | 44.6.25 | 「日本語・日本文化」1号 |
| 3. 文字づかいと文字意識——日本人と外国人—— | 44.8.20 | 「センター通信」No.3, Kyoto
English Center |
| II. 1. 言語教育と言語学説 | 44.8.18 | 京都国語教育研究会 |